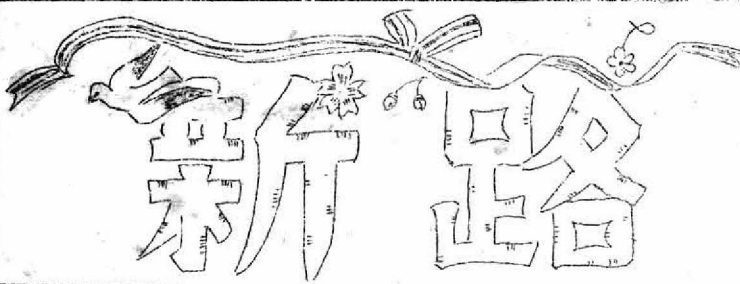


昭和27年4月15日
 4月号 NO.8
 東京都中野区新井町549
 織本外科病院 電話5006
 『親和会』機関紙
 発行所 加藤 亀吉



張 今年の一月から
 附添料金が度々
 医師保護の患者か
 ら受けとる料金の

主 二人附二割加係が女とめら
 れなくなつたからである
 その二割附添さんから患者に
 その差額を支払つてほしい
 という要求が出された、と

横のつながり ところがこれはいくらも有るが
 つた、附添として都庁へ行
 つて料金の値上げと二人附
 の加係を認め、ほしいとい
 う交渉をした、たまたま
 集合して大附添婦組合協
 議会の人たちの話、あいつ
 患者に差額支払いを要求
 するのにはまぢつていろいろ
 と、問題は政府から払つて
 もう、お金を多くしてもう
 うこと、そのためには附
 添料金を手互にせりひうく
 患者の組織とも結びあつて

共益の課題として解決して
 いかんが北ばらな厚いこと
 を知つた、もし附添さんか
 患者に差額を支払つてもう
 つたとしたら困るの、患者
 ばかりではない、差額の払
 えぬ患者は入院できない
 ということになれば入院費
 格が制限されるし患者がへ
 る、これは病院にとつても
 困ることであるが附添さん
 の手も空くわけであり、た
 かに制度しあつていろいろ
 結核の問題はひとつとい
 つかひるいつながりを、つ
 ている、したがつて患者の
 こと、附添婦のことも無視
 出来ない、この二つのひどつ
 をとりあげても善い協力な
 しにはやつていけぬ、
 自治会、親和会につづい
 て附添婦組合と従業員組合
 ができた、この機会に種々
 つながりをいっそう強化す
 ることが、いまもつとも
 必要なことではないだらう
 か (M)

新 料 金 表

一、レシオ學シ内	一、移	一、移	一、移
一、断層	一、移	一、移	一、移
一、透視	一、移	一、移	一、移
一、検査塗抹	一、移	一、移	一、移
一、(培養)	一、移	一、移	一、移
一、血	一、移	一、移	一、移
一、気	一、移	一、移	一、移
一、文書料	一、移	一、移	一、移

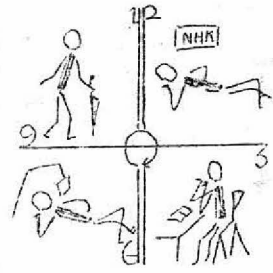
(使役婦組合員は会員料金の半額になります)

目 次

新薬について	奥島俊弘	六
患者さんはお人好し	織本正慶	五
生活を破壊するもの	福井長久男	八
回復期の居候心理	杉本重天	七
織本よ、さようなら	細谷弘子	九
培養動粉十ヶ月	宮田泰一	二
日誌診料の記録から	奥島美都子	一〇
歩行体験記		
歩いたのしよ	こどもとこひる	四
百歩から二十米へ	田島文市	四
歩行座談会		
重積、病氣と私	味沢去子	三
加筆啓上	小林 強	三
短歌、俳句	馬場たか子	五
TBの歌	ホリタ、タテオ	八

歩行法の座談会

三月廿一日午後三時ヨリ会員多数出席ノ下ニ開催



加藤 今白皆さんにお集

りいただいた。歩行法と作業法の懇談会を申した

のは私たちが自宅を委

託して頻りに来れば良いの

だけだと承らなかつた。ま

でも先生に聞き忘れたりす

ると、どんな風に歩行を作

業をやつて良いか分らない

又時期も分らない。それが

も實際やつてあると面白

つた時にもわかるのかとが、

こまかい良きいろいろ具体

的に分る方、こういう実

た正しい方法で歩行や作業

をやつてゆきたいという

ころに目的があつたわけ

で、今日出席できなかった

方々にも「新説」を通じて

知らせたいと思ひますか

最初に副院長から一般の方

お話を伺いたたいと思ひま

す。副院長 私は歩行法や

作業法について専門的の

勉強をしていないので、字

句的な話や理論的な話では

きないが、養所などでは実

にやつていふことを中心

にして話をすすめたいと思

ひます。安静度五度になる上歩

行法が知られず、この

目的は、いままで安静を中

心にしてきた生活から、生

活にもどるまでに、だんだ

に身体をならしてゆくとい

うところにあります。初め

は、一〇メートル位から

き始め、五日が一週間は

一〇〇メートルづつ増や

す。二週間あつても、この

ペースで進めると、増やす

のは一週間でなくとも三

日程度、一五日でも良い

ころ、一〇〇メートル

までいつたら少し休む、一

〇〇メートルを歩くと何

日かつて、様子を見ら

け、もし疲れてくるよう

なつたら、メートルを減

らす。加減すると、休息と

か、一〇〇メートルの

かないうちでも疲れ具合に

よつて調節することが必要

です。疲れすぎると、た

たう量が無理なのです。一

〇〇メートルまでいつて

休んでいる間に赤痢、体重

増減とか、自覚症状の様子

みて、次の段階に移るとい

ふことにすると、具合が良

いようです。こうして四〇〇

メートルを六ヶ月で仕上げ

る。四〇〇のメートルまで

いつたら、次の作業法に

つづけてゆきます。

メートル教は、いちいち

が、おれせんから歩中では

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

おれせんが、おれせんが、

いふのでなく、一のこのコメ
しトル位のところから歩行
のを始めるというふうにし
た方がよいと思ひます。

堀田 雨小りの日にやる
のかやらないのが問題に
なつてゐるのですか
例へば田舎さんなんかは雨
が降ると歩行を休んでる。

見舞さんなんかは傘をさし
て、やつてゐるようですし
こういう奥まぢまぢなんで
すがどうがよいのですし
うか？

副院長 雨の日はやうな
いようですね、まあそんな
に無理してやらなくとも良
いと思ひますがね。

堀田 今年のまうに雨小
りが多いと長い間中絶する
ことになつてますね。

副院長 一このところは
適当でよいと思ひます。そ
れから歩行をやつたついで
にパチンコをやつたりする

人があつてどうの分りませ
んがあれはいいないとして
す。パチンコが原因でシユ
ーアを起す人が時々ありす
すからええつけて下さい

加藤 歩行から作業に入
つてそれから勤務にうつる
わけですが、勤務に二日は
始めから出席されたに次で
し。経費を話して下さい。

江沢 僕の場合は歩行が
一足と二足に半日勤務に
つたわけですよ、というの
はこの辺で会社に出ない
論がたいもんですから無理
を承知で、手術してから下
度一年しかたつておしま
せんがこの三月から半日勤
務を始めたわけですよ、半日勤

務といつても編み出し、
これには良いというだけの話
で実際に仕事をほとんどや
つていません。八時間のう
ち三時間くらいは良いといつ
て会社の方で黙認してくれ

います。会社に理解があ
るのでどうやらやつてあげ
るつもりで、御意のまうに
僕は面談成形ですが、一
倍自覚しなければいけな
いのにこんなには早く勤務を
戻しやることは不安なんで
すね。

加藤 会社でそれだけの
理解をもつてくれるという
ことは結構ですよ、私たち
も話をうけたために少し位
無理でも出さなければな
らない時が早かお遅かお
つて来ます、そうした場合
江沢君のまうに半日勤務を
返とめてもらうというよう
な前例がござるといふよう
ですよ。

堀田 歩行を終つて作業
一法に入る場合に作業とい
つても通常な仕事がない方
がないと思つて下さるが親和
会々何かがあつたらませんか
ね。

加藤 野沢さんがやつて
いた話なんかも良いですよ
あれは本を販売する仕事で
われわれには自分でも本を
つて歩くことはできないが
学生アルバイトが何かを
まくつかつてその中心にな
る仕事ですよ、これは希望
者があればいつても紹介で
きますよ、皆さんも創意を
揮つて大いに考えて下さい
ではこの辺まで。

つてゐる人があつて下さるがね、
一この会の会費で七、八の
〇〇円がせいといふので、

一筆啓上

堀田副会長の巻

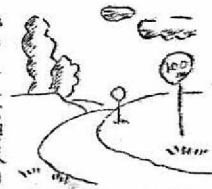


こんこんと湧き出
づる泉の如く、話せ
ども語れども、その
ネタのつまることな
しとてパチンコ
玉の如く、すれてはいない
純にしてことこののりアリ
ストナリ、中学へ入學の頃
よりムーラン通いを秘かに

政行 踊り子の長に決ま
心を養生させた。ア、
長所は政手に暇がないが
強いて欠点を採つては
余り物事に熱中しすぎるこ
とである。副会長様だん
任であるが、先輩の方も又
忘れたいくないことを
希つておく。(小林貞記)

歩いたのしび

記 験 体 験 歩 行



歩くということに興味のあることだ。私がまだ歩行できないころ、病院の窓から乗師通りをながめてみると、男や女が何気なくぞろぞろ歩いていて、見ていると、その歩いていること自体にその人の生活の表情があつて面白かつた。自分が歩き出してみると、出会う人達がそれぞ礼用ありげにせかせかと歩いているのに、私だけ用もなさそうにそろそろあるくのがうしろわたい気がした。私は成形のあとのカリエスで九月月絶對安静をした後だから先生の

こじまゝとしくる

注意で、普通の人が百米からやるところを十米からはじめた、外は空気がさわやかで光が明るかつた、門を出てわずかの距離で引返す私を、よその子供が不審そうに見ていた。往復で十五分も歩けるようになる。雪道通りに出てきた。けれども二年近く屋内にとどこもつていた私は、自動車の往來をうまく橋で渡れなかつた。車のスビノトが私の感覚と合わないのでも、どの位の距離にきたら危険なのか見当がつかぬかわる気持であつた。このようなたのらいいも、じまになれて、私は普通の通行人と同じような速さで、同じような顔で一回に二十分おろ三十分歩くところまで行つた。これが四月月日のことである。

冬のよなかつたこじまはしは雪が降つた。その日と一週間も道がぬかつた。駄では歩けない。私は半長靴を買つて、雪が小つても履が小つても、散歩をかわさないことにした。もつとも傘をさすとミマ傘の重み

百米より二千米へ

田 島 文 市

手術後六ヶ月は足が痛くていつにも不安が伴います。これからはどうなるのであらうか。一つには経済的に二つには人並みに又働ける事が出来るのであらうか。このまま身体が苦痛がなくなつて行くのであらうか。だんだん後述の歩行す

や、その抵抗で体力がよけい取れるから時をよびがくした。いま私の歩行のためしなは、自分で本屋によつて、あれこれと新聞の本をのぞけることだ。以前に、読書新聞またよりに、又にたのんで買つてもらつて来たものかしかから救われたのが何より嬉しい。(昭和廿五年成形患患)

法に入つた時の嬉しさは、このような苦しみを、恰も恋人が訪れて来たように、吹き飛ばしてくれます。暗い私の心には希望と勇気が湧いて来ました。歩行が法を一步は秋深まり冬が足音もなく訪れる頃でした。始の百米を歩行しました。大體裏の畑道を日

標で五十五分はかつた。これを往復するのです。足の裏が痛く、すぐつかれてしまします。それは、午前中九時頃十分ぐらひが小つて行きます。午後には遅く、しまします。以上を一ヶ月程行きます。次は二百米、五百米と三ヶ月ぐらひ続けます。勿論、雨の日や風の強い時は休みます。

術後一年頃には二千米を午前と午後に分けて歩くようになった。これもまたつかれます。二ヶ月程行つて作業が法の段階に入つて行きます。でも午後二時間の安静は抜かれません。では皆よくお身体を大切に。



患者さんはお人好し

(副院長) 織本正慶



「どうしても先生に助けて
戴こうと思つて……」等

と云つて診察をうけに来る
人がよくある。私は、それ
に対して「よし、助けてあ
げよう」等というお目出
度い口イズムをもつたこ
とはない。あんまりそんな
争ばかり盛くと、かえつて
向の悪い気持ちを味わうもの
だ。自分の悪人でもがそん
な事をいつたり多分にドン
ファン的な 気風を持つか
も知らないが、対病者の向
態はもつと私にとつてきび
しいものだ。

私は○○○子という人を治
そうとさえ思わない。私は
し織ファイルムに眠る空病
に対して、これを如何にし
てついでか、切除するかと
いう等々一杯で、それに無
限の興味をもつてゐる。

だが患者さんだけだ。私
も同じである。特別な美人
でもない限り、その人の空
洞は寛えているが顔はな
なかな重えられない。もつ
もファイルムは、もつと何
か考え、見たくなつた時に
いくらでも遠慮なく見られ
るが顔はちよつと見たくな
くてもまゝ簡単に見る訳に
行かないせいもあるかも知
れない。そんな風だから手術
中にはどんな年寄でも奴鳥
まつけるが手先だ。

「何もさすつてゐる訳じゃ
なし骨を切つてゐるんだか
らちよつとあ、痛いのは当り
前だ」等とバランメエが
出ることにはある。
だが手術が終つて「ドン」も
も同じである。特別な美人
でもない限り、その人の空
洞は寛えているが顔はな
なかな重えられない。もつ
もファイルムは、もつと何
か考え、見たくなつた時に
いくらでも遠慮なく見られ
るが顔はちよつと見たくな
くてもまゝ簡単に見る訳に
行かないせいもあるかも知
れない。そんな風だから手術
中にはどんな年寄でも奴鳥
まつけるが手先だ。

来た時にもして、この時に
は、愛嬌でえんする。
白曜診すに「この痛どうで
す」といふので○○○夫とい
う人の体と骨付かえるのは、
この時期である。
面削成形をせつた人が元氣
になつて富士山のようなレ
ントゲン写真をもつて来て
「何時かいいすね」と冗談
を云ひながらその人の顔に
のぞき込んだら本物の顔よ
り胸の写真の方が大分やさ
しい顔をしてゐた。

短歌

髪結いて爪も切りてと看護婦に大きき子ねこ
笑われオカリき

友が又、たのし話れる姉しさに病移りせし
がさしと

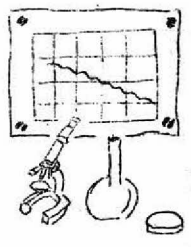
俳句

病及し身す、生けし極く、長世をし

病んでいく、留保に救しき、白曜日

背の傷を、合身もさ承れる、よ遊所

(作 馬場天か子)



結核の新薬がまたできた、こんどのはヒドラジッドがどの程度の特効薬か、日本の医学界でもその評価はかなり控え目のようだ、患者はその実際の効果が現在伝えられていく評価以上のものがあることを希望し、患者は患者が大きい希望、期待をもたないようにはいまいでいる。

私は患者としてこの新薬の出現を特に大きく評価したい。たとえこの薬が効果において、ストレプトマイシンをそれほどのものでもないとしても、なを私はその出現を祝福したい。その理由は私が成形術をうけてから、私の頭の中に確固と

して位置している一つの考によるのである。

私は外科手術が肺結核治療の主流であるような時代は一日も早く去らねばならないと思う。

肺外科の急速な進歩は、たしかに結核に対する医学の一つの勝利ではあるが、まだ本当の勝利ではなく、かなり低い段階の戦果だと思ふ。なぜならば、医学が人間の病気を、人に苦痛をもたらえず、体を衰形させず、人の社会生活を長く中絶させないで治せる段階において、はじめて、病気に對する医学の本當の勝利と云えるからである。それを目ざしての、たえまない医学の進歩こそ、医学の中の流れるヒューマニズムのありわれであらう。

私は医学の結核に対するこのような本當の勝利の日

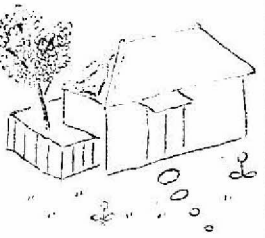
がかなり近いという直観を動かすことができない。二十年間の抗生物質の発達と化学薬品の発展の状態をみてみると、すでにゴールに近いという感がある。あらゆる發展は、その發展の量がある大きさに達した

新薬について
—私はこう考える—
(3月25日記) 兎島俊弘

小さくめて結核新薬が空洞に對して有効でなくても、近い将来に亲身体が空洞壁をも透過するが、あるいは空洞壁を浸透させる補助薬の併用によつて、空洞にも有効な新薬が生れるだろうと思ふ。ヒドラジッドはこの量的な發展に大きな進歩をみせた一つの里程碑である。ちようど、プロペラ式でもどうしても音の速さを破れなかつた飛行機が、内燃機の大量の突進ののち、ジェット式という新しい方式が發明されるとたちまち音速の壁を破ることができたように、空洞の壁を破る新薬が生れるような技術的

な土台はようやくそなわつてきたという感じが強い。もつとも、まだ実現しない薬を待つて、現在手術療法の人々が手術をしないという、正しい態度ではないが、空洞に有効な薬はまず当分できさうにないと思ふ。これも發展的な考えではないと思ふ。しかし、こういう楽しい期待を暗くする一つの影がある。それは、軍備拡張に政府の財政資金の大部分が投下され、平和的な研究の研究費や資材が充分でなくなることにある。

また、アメリカの結核新薬の研究はほとんど製薬会社の研究所で行われているために、時によつては資本家的競争がその發展を大いにすすめるであろうが、また時としては資本家的な考慮がその發展をまたげるかも知れないということである。私はただ、あらゆるさまたげなしに人倫を結核から解放する研究の行われることを希望するのである。私はヒドラジッドが空洞に有効でなくても、また「進んた」と思ふのである。



新築 無事御滞郷の庄

先般より長い嵐の御滞在

に、ご心配の事と存じ
ます。御苦勞様でございま
した。留守の間に仕事もた
まらもつくり打寛々暇もな
いことと思ひます。

扱て、当家へ方立を交際
は難談に花が咲き、私の身
上相談にも及んで、皆重乃
る御意見、御助言を賜り大
へん感謝しておりま
す。今後は私の身上を中
心として家人の前では一寸話
しにくい居候心通とも云う
べきものやうにござらぬつて
なすしよ。

一に春酒は御牌の風味での
心通はななく、もう年々ツ

に成る必要もないのですが
端的に云うならば、自分の
要求に対する主張ばかりで
なく、家庭内に於けるすべ
この論言権が授けられたもの
になり勝つて、恰も占領
下の一等國アメリカさんと
同等日本の場合のようにな
る。

家族の者は口では、チ
カに良いということは何
もしてあなたが良いし
と云い、手裏外科手術も
してもらったのですが、

サアとなると、仲々断布
のひもは小さく、又、片委
が長いくにつれて、いまま
もブラ／＼といて風を
———將軍を染じての面も
りますが経済的の面に於い
ても厄介極する———と
云つた心理作用も全面的に
否定することけ出来ないので
は無いでしょうか。

私のあおしてくれ、こし
て、という要求が大みふれば

おまはと家計費の負担は重
くなり、それと云つて最
低限の養ヒ(養ヒに生活ヒ
を合したは家計予算に納入
れて貰はなければ困ります
。養ヒを減らすのが、或る意味
に於いては利害関係が対立
します。こう書いたらからと

わないかと思われず、我
が家も其の例に洩れず、
家人が我儘な病人だと思つ
ているであろうように私の
方でも些純な真についてけ
云いたいこともありますが
。頑固な独裁者が居ないとい
うことは、有難いと思つて

いつて私達家族が現在不知
を醸成しているわけではあ
りません。しかし不和にな
いということに直ちに理想
的の四滴を意味しませんし、
一心同法に見える家庭でも
その多くは家族間相互の計
我、主張を最小限にとどめ
根本的な争柄に多くの妥協
点を具出しての安定状態に

おひ、思いがけず親心
を示されて嬉しくなるとき
もありませう。

叔父様のような理解ある公
正な第三者の「身体を第一
義的に考えるべきであり、
健康な社会人に吾して幼く
には身体に充分自信をつけ
てからにした方がよい」と
御意見は私達当事者双方に
とつて得るところがあり、
必ずしも御勧告通りに
いかぬかも知れませんが
大々ん有難いと存じて居
ります。

以上方ことは、總えず
考慮しているわけではな
く、分析して又礼げこん
なものになるということマ
ナ、どうもグチつぽいお便
りになり恐縮です。この次
には何か面白いニュースで
もお届けしましょう。

では叔母様はじめお家の
皆様によろしくお伝え下
さい。右御札をかたく御報告
まで。

御機嫌様 廿ヨナラ

一 簡 書 一
回復期の
居候心理
田舎の叔父へ
(昭和初年成形患者) 杉本重夫

織本よ、さようなら

細谷弘子



居心地の良い織本にいつまでも居り度いのは我儘

ベッドの空くのを井上病院で待ちながら、シユープを起して亡くなった友もある。空洞をかかえて千秋の思いで待つている多くの友のために、一日も早くベッドをぬすのが病人のワークアウトだと思ふ。

織本へ入院したのは、窓の銀杏が青々として、そよそよ涼風の吹き初めた頃。未だ手術は無理と言われ、難く化学療法と、安静を続けられているうち、銀杏は黄ば

みやがてハラ／＼落葉し初めて、風もなく、一葉も残らず散りつくして、年の瀬には白いものをかぶつて小るえていた。それも束の間今はもう芽生えの支度を初める頃となった。その頃に私も無事三次の成形を終えて又一つ年を重ねた。懐しい教々の思い出、ここへ入院して先づ感じたのは、ナースさんの美人揃いだつた事と、民主的で明るい雰囲気だつた事。肺摘才一号の経過が良好だと云つて病院中で喜んで、それに自信を得られた先生が緩々と肺摘に手をつけられるようになり、成形はもう時代後れの錯覚をおこす程だつた。秋の夜長の頃、

一日の仕事を終えた先生方と事務の方、ナースさん方が、レコードに合せて楽しんで、ダンスをとっているのをみて、病気の憂うつを忘れたいのもしば／＼だつた。院長が十八巻の録音、六羽の復物をかりやけて啼りれた時患者一同に御馳走して下さつた。鳴料理の美味しかつた事、二週一回、五、六人づつも手術をされる先生の鮮やかな手並は知る人ぞ知る。その先生の手腕と、手術前後の処置の完璧さに、手術に対する不安を一掃して、絶対の信頼をよせる心になつて行つた。クリスマスにはお部屋を飾りつけて、ダンスに打興じていられた先生とナースさん

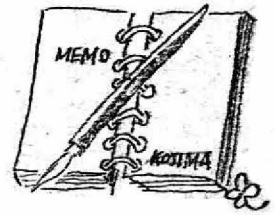
さん方の微笑まじき、又雪降りの日、雪投げの土がへいにかつかるので窓ガラスでもこわされてはと、どならうとしてみれば、若先生を先頭に男性室と、婦長さんを先頭に女性室が、今や雪合戦の最中だつたので当然とした事もあった。母静が足りないと言つて時時叱られた事もある。一月十五日の病院記念日に親和会が結成されたが、その夜は賑やかな催しがあつた。ドジョーすくいや八木節がとび出すかと思えば、事務長の奮一、若先生のお宮で金色夜叉の劇あり、院長の粹な爪弾き、マカナイのおちさんが踊り出す始末、先生方もナースさん方もなかなかの芸達者、患者も附加いも腹をかかえ、当分はその話で持ち切りだつた。兜島さんに美しいソプラノ

で讃美歌を歌つて戴いたあの夕の感激、平野君の元氣な独唱も楽しかつた。半年の住院中、肺の手術で亡くなった人は一人もいない。小さいけれども秀れた肺外科織本よ、民主的かつ明るい雰囲気も永久に失はす。常に患者に感謝される病院であつてほしいと祈つてやまない。楽しかつた思い出を感謝しつつ、私は明日に迫つた退院を名残り惜しくも心静かに待つている。

織本よ、さようなら。

宮本刃心博士
より

「貴会の御発展を祈ります」
との激励文が、寄せられました。



X月X日

人違いではないかしらと思つて、「Aさんですわ」と念をおす。矢張り人さがいではない。カルテにもう一度回をとおす。

二十五才

その人は年にしてはあまりに小けてみえた。土色の頬。つやの悪い髪の色が二十代の若者の若さをまきで感じさせない。レントゲン写真でみると右上葉、肺門部近くに鶏卵大の空洞がある。巨大空洞である。「手術をしましょう。写真が古いからもう一枚とつて」と先生に云われ、とつた写真を濡れたままシャウカス

テンにかけると小さい浸潤が石にも反対側の左肺にもいちめんひろがっている。こつこつと分布性結核といふのだらうである。

「だから巨大空洞は悪い」とつづき、先生が云う。たつた二ヶ月の間に、人目にも分る位である。これは手術は到底のぞめな

らしく若い奥さんが赤うやんを背負つて附添つて来ていたのだから……

「登病は何時だか分らない。二ヶ月ほど前に風邪をひいてから熱がひかないので、レントゲンをとつてみて初めて結核だと云われた。その時すでに大きな空洞ができていたが、自覚症は全くなかつた。手術をすすめて

区内には言えないという。手術はうちで病院で休ませることにして、登病のマイシンドだけを近くの区倉に坂廻しようとする。事務長が病歴を尋ねると、区内のK病院に紹介するとやつたことだ。

「登病患者をひきつけられないという理由は分らない。こつこつと、自覚症がたつた二ヶ月位たつてからでないと支払つてもうえないことにストライクのような高

い痰を使う場合に患者が一時五割を支けなければならぬ」といふことでは、負担が重なる。登病や使保の一方、患者が安すぎるということも問題であろう。患者が往診した一回分の報酬は八十八円ですが、支拂いは二二ヶ月あつたになつてからでなければもうえない。その上、高い薬を立替えるのだから、こんな割のわるい話はない。(注：以上後につく)

日旺診の記録から

(医事係) 児島美都子

い。しかしまだ抜がつてから日が浅いからあるいは吸収されるかもわからないといふので、マイシンの施行を決定する。「巨大空洞の死亡率は三年以内で八〇%と何時か本で読んだことが、小と頸に来てハツとして、もう、また結婚後願もない

私は今日まで二ヶ月の間あつたこつこつの病歴へ交渉したが、入院をひきうけてくれるところがなくて、患者自身も病歴ががして、いふうちにシユープを起したらしい。荒川区の保健所の添言によつて、くられるような病歴が、

くれた病歴を、紹介された病歴にゆくと別な患者にいつて下さいと云われ、患者を紹介された。そこへ行くとき、一日に朝と晩二度に往診に行くと、他の患者に具合が悪いがうと主治医に言われた。どこの病院も返答も医師の診察の患者は、こめん

だといふのである。保健所の言葉は本当だつた。一登病患者をひきつけられないという理由は分らない。こつこつと、自覚症がたつた二ヶ月位たつてからでないと支払つてもうえないことにストライクのような高



X月、X日

昨日の日

肺は病気で
出勤できな
かった。



「とても忙
しくて入院申込が八人もあ
つたのよ」と云われ、「申込
書に目をとおすとAさんの
名前がみえる。」

「あれから五ヶ月、やつと
さがしあつた何軒自らの医
者で二のグラムのマイシン
を打ち終つて自分で安静を
こつけた。そのマイシンが
思いのほかよく効いて空洞
の反対側の浸潤がすっかり
吸収されたそうである。」

「これでもやつと手術がまし
る」と云われ、以前とは、
見ちかえらるほど体重も小
さいもよくなつたAさんは
喜んで帰つたそうである。
入院予定をくみながら私は
Aさんの稿を思いつかべて

使しかつた。やつと手術が
できる。この人も生り弟列
に如かることが出来るのだ。
だが考へてみるとAさん

は特に幸運であつた。この
場合マイシンの効果はこれ
ほどの効果はなかつたら、五ヶ月
の安静がこれほどの効果が
なかつたら手術をするとい
うまでけががなかつたらう
う。病人自身が病院でがし
をしたたり、マイシンを打つ
てくれる医者が容易にみつ
からないというようになつ
てもAさんは特別幸運だつ
たから病気をそれほど悪化
させないですんだ。

しかし、だれでもがAさ
んのように幸運になるたわ
には、患者が自分で病院で
がしをしたりしなくてはな
りません。ならなければなら
ないのだと思ふ。

なにして去年の夏、結核
に行つて暑さにボーツとし
ながら詰め込んだ技術が故
たいした事は言けません。

皆さんが試験管に入れた
持つて来た痰は苛性ソーダ
の溶液を加へ粘性を無くす
ると同時に痰中の細菌を殺
します。そして
培地に流し結果
を見るというわ
けです。さうそ
の培地ですが、
早く云えばまし
たまごでそれ
菌の発育を良く
する為にはグリセ
リンを、細菌の発育を遅
之又、丁度との判別に色
素を、その他二の薬品を
入れたもので、丁度菌は余
程の食通うしく、出来が
固くてもやわらかくも生
えが速く又、味の素の入つ
ている培地もある位です。

格 勤 養 培

「十ヶ月」

(校係) 宮田 泰一

二週間を過ぎるとそろそろ
小さく有菌色の痰がボーツと
出来、又一週間もたつと、
はつきり粟粒のようなコロ
ニーになり、このコロニー
の数でその菌量を表します。
しかし一番菌数の少ない
に名前がなく培養できない

で、後で
結果を照
らに照ら
れる時
早く達終
出来れば
良いので
すが、必
前がない
のではお知らせしようが
りません、培養して見て面
白いのは「マ」ですと云われ
ると「前には何だつたのに今
度は「マ」ですか？」なんて
がっかりする人、(竹)になる
と次回には唾のような痰を
持つて来る人、培養には、

「これでもやつと手術がまし
る」と云われ、以前とは、
見ちかえらるほど体重も小
さいもよくなつたAさんは
喜んで帰つたそうである。
入院予定をくみながら私は
Aさんの稿を思いつかべて

集 募 稿 原

生活記述、短篇小説、コント、詩、短歌、
俳句、往復書簡等。(毎月末締切です)
みんなの力で、よりよい機関誌にしましょう

評書



ベティ・マクドナルド著

病氣と私

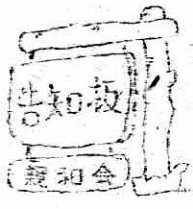
味沢 宏子

面白く云う評判だつたし同病者のサナトリウム生活を描いたと云う莫大の興味をもつて読者始めましたが果して面白くもなかつた、作者、ベティ・マクドナルドはユトモアに満ちた明確な筆調で病室の人々を辛辣に描き出し、読者も思わず誘はれて笑い出してしまいます。私達患者として痛感したことはここに現れているサナトリウムの完全性に対する羨望、それに比較してお話しにならぬ程

會得て不潔な日本のサナトリウムに耐える理意です。そこに依り着き讀者さんの患者に対する感懐とは又、お話しにならず、つめたい眼、樹影石の視線をいつも患者にぶつけて行動をとる。患者はものを讀んでけらなない。患者は字を書いてけらなない。患者は嘆息をけらなない。患者は笑ひをけらなない。患者は手を伸してけらなない。患者はくつろがけらなない。患者は思ふに……等々ものすこい嚴格さ。

入院當時は読書け勿論のこと、手紙を書くことも、おしゃべりさえも禁じられて、いり徹底した安静療法に、相当重んずるも次第に良くなり、行く過程で眼があたり、及び今更安静の重要性を思ひ知らされたが、何もかも設備がととのい、患者自身もゆるがななくとも用事があったり、そのした環境のもとにあつての静養で、耐添刑題や病室問題、や正を待たぬか、を待たぬか、私達の現状ではその嚴格さ、け遠い夢に思ひないうる気がします。

私達、予らになやむ者にとつて、この松の樹園のよう



うなサナトリウムを現在作つてほしいと願うより、今の日本の現状にある、養所正、もう、これ以上何も

三月十六日才三次幹事會にて左の議題を討論決定
 一定期懇談會開催の件
 懇談會當日は、必ず診察も行うことが決まりました。
 二、新築、配布方法を件
 入院患者には、自治會費が組織誌代を徴収することになりました。
 三、令息如如致(四月十日)入會者ニヨ名計一〇九名
 昨年三月節制成形よりけた江沢英夫さんが今年の三月から平日勤務を始めました。
 多くの會員から三月号は少し良くなったという嬉しい感想を聞き、張り切つて四月号を編集致しました。またまた、欠陥の多い機関紙ですが、會員さんの方で、お養生生活に役立つ、丁々れたものにしてゆきたいと思ひます。
 (堀 田 記)

編集後記

の外の障がいによつて押し下げられように感さんと共に願う次第です。
 (氣胸患者)